

農業委員会だより



平成18年4月1日
田原市農業委員会

☎23局3519 / FAX22局3817

第5号

認定農業者組織化の準備

田原市の認定農業者数は、1月末で682名となっています。

田原市では現在、認定農業者の組織化に向け、地域ごとに選出された準備委員会29名と1つしよに、組織化の準備を進めています。

準備委員会では、豊橋市の認定農業者連絡会や岡崎市認定農業者連絡協議会と意見交換会を実施したり、組織化準備のための会議を開催したりするなど、組織化への経緯や運営方法などについて活発に意見が交換されています。どの地域においても組織化への道のりは容易ではありませんが、自己研さんや作目を越えた認定農業者の連携を図る情報交換の場として、組織化は必要だという認識は共通していました。組織化に向け、関係機関とも連携を図りながら進めていきますので、ご支援ご協力をお願いします。

認定農業者制度 推進講演会を開催

2月21日、田原文化会館で愛知県・田原市・愛知みなみ農業協同組合の主催により、認定農業者制度推進講演会」が開催され、約200名が参加



しました。

はじめに、東海農政局の上村経営課長が、認定農業者等担い手の育成について」と題し、食料・農業・農村をめぐる最近の情勢変化、農政改革の方向や認定農業者の重要性について講演。続いて愛知県農業会議の岡田業務課長が、認定農業者は団結しよう」と題し、認定農業者の意識や組織化の必要性について講演しました。

今後の農業経営に関する国の施策は、認定農業者と一定の集落営農組織に集中的・重点的に実施されることから、講演会に参加した認定農業者の皆さんは、誇りと意欲をもって経営の発展に取り組もうという姿勢で、真剣に耳を傾けていました。

豊橋市農業委員会との 意見交換会

田原市農業委員会は2月24日、豊橋市農業委員会農業振興部と、遊休農地対策や農地改良などについて意見交換会を行いました。

遊休農地対策については、田原市Q「菜の花エコプロジェクト」が話題に。搾った油のことや作付方法、行政からの補助体制、管理耕作依頼の反応や結果などを話し合いました。また、農地改良については、土壌改良でのたい肥の過剰施用や品質などの問題について意見を交わしました。

今回の意見交換会では、全国有数の農業地である田原・豊橋の貴重な農地を守ることが必要であるということが、あらためて確認されました。

家族経営協定書締結調印式

家族経営が中心の日本の農業を次代に受け継いでいくためには、「農業」を魅力ある職業として確立することが大切です。男女問わず意欲をもって取り組めるようにするには、経営内において家族一人一人の役割と責任を明確にし、それぞれの意欲と能力が十分に発揮される環境づくりが必要です。これを実現するため